

坪谷小学校完全給食報告書

学校給食実施に寄せて

坪谷小学校長 馬場 一義

学校給食の話が持ちあがり始めたのは、この一年の今頃ですが、この一年の間、村ご当局的適切な指導と援助により、またPTA役員の方ならぬお世話と校区ご父兄の心からのご理解により、去る一月十三日から給食祭りを兼ね完全給食を開始することにいたしました。

一月十三日、この日こそ坪谷小学校三百二十人の子供の最良の日であったかも知れませんが、色テブ、造花等々で特別に講堂に全員集まり、特別あつらえのこころを前にした子供のよこごは「いつ始まるかいつ始まるか」と待ちわびた彼等をつきと満足させたことでございましょう。食後は役員や来賓の方と一緒に、にわかつくりの学芸会に出の給食祭りとなつて一日を終りました。

最近さげされる学力向上の問題、道徳教育の問題は本当に大事なことであると思ひますが、子供の健康教育の問題はこれを平行して、更に大事かも知れません。子供の勉強も遊びもすべて大人の労働と同じであり、大人の子供はそれ以上に成長しなくてはならないと

必要な栄養を幅広く取る様努力することも大事なことであります。

こう考えますと、学校給食を実施することによって、大きな父兄の負担となつて来る給食費は、弁当代といふより教育教材費の一部であると考へてよいのではありますまいか。

私たちの学校給食が、やがて健康教育となつたり、子供の体力をたくましくし、力と気力を作る源泉となつてくれることを心から願ひしてまいります。

完全給食のよろこび

瀬平 那須 ケサエ

私達部落は学校より六キロもはなれた所で子供の通学もなみたいていではありませぬ。

朝は四時に起きて、一時間余りで食事の支度を終えて、子供を五時二十分頃に起して、食事支度と一時間程度で、家を出るの六時半です。冬はまた東の空がやと明るくなつたくらいです。毎日の弁当は望み通りに出来ず子供のにおなかいっぱいになるのだからと思ひつて、おかない等言う時もあり、おかず代十円持たせたり、たまにはパン、バター、ヨーグルトと四十五円の屋敷代になる時もありました。

学校給食について

深谷 矢野 金雄

私達坪谷部落民の数年來の念願であつた学校給食実施で嬉んで居る一人です。それは外でも有りませんが先ず我が家の朝の様子に御経験の通り子供四人と私で五人分の弁当のおかずの事で家内は大変な苦勞でし。前日から色々と心の献立をしないとその日の朝で子供達の満足するオカズが出来ない時は一十円也を徴集されます。そこで鶏を八羽養つて買入ると赤字です。それでもオカズの事を考へると仕方ない事ですが夕食後の弁当箱洗いが又苦勞です。其の苦勞がなくなつて忘物をした様だと家内が申します。給食は献立表

その反面父兄の悩みは給食費ですが「出せ出せ」の世に一人四百円位でも三人以上いる家庭ではなかなかでも先に述べたよう謝していただきます。

ではこれ以上になる事もあつたので考へ次第では僅かな給食費で子供を育ててもらつて有難い事に感謝していただきます。

学校給食についての感想

野々崎 中野 節子

待ちに待った学校給食も校長先生、PTA会長さん役員の方のお骨折りのお陰で始まり大変よろこんでおります。毎朝の弁当作りに苦勞でしたが、その分の手間が省け、毎朝子供達も今日の給食の献立は、おもしろい、学校より頂いて一週間

なを作つてね」と注文することもありません。家庭では足りぬ栄養も充分とれ偏食をしなくなり食事作法等をおぼえ衛生観念もつちかわれ、日に心なしか血色もよくなり、又母親の顔もなほらぬことまで学校で教えて頂いて大変

たのしい きゆうしよく

二年 なかの ちほ

わたしたちの学校では、一月十三日からたのしいきゆうしよくが、はじまりました。学校の、土曜のころのこくばんにきょうの、こんだてが書いてあります。わたしは、あさ学校へ行くとき、あ、きょうはミルクとマーガリンとパンと、ちくぜんにか。と、いって、きゆうしよくには、いってきます。うちで、きらいだしょうどくくすりで手をあらいます。白いエプロン、白いボウシ、白いマスクの六年生がたべものをくばつてくれます。先生がおまじ「いただきます」とおまじ

きゆうしよく

四年 水野 美代子

坪谷小学校できゆうしよくがはじまつたのは一月十三日です。みんな、うれしうれしう、にこにこ顔で食べています。わたしは、おかず係です。みんながよく食べてくれるのでうれしく思つています。

おあさんたちも顔色がよくなつたわね。でも一つだけしんばいなことが、あります。それは、友だちのれいこさんが、からだがつよくてパンなどのこすこと、だから、だんだんこ

完全給食が始まつて

六年 矢野 時子

一昨年の十一月頃から首を長くして待っていた給食が、坪谷小学校でも始まつた。初めて口にされた給食の味が、今でもわすれられない。

給食が始められたが、坪谷小学校に始められたのを、きつかけにほかの学校も、どんどん始めていく事だろと思う。PTAの人達、先生方、父や母その他の人達、本当にありがとうございまして。

視察日記(一)

杉田 三郎

午後役場の二階で町長さん始め農協長、常務、畜連など町の主眼陣が集つて我々と座談会を開いてくれた。町長さんは一見好々爺の田舎町長と見える方ですが曾て農林省にもおられたそうで仲々の理論家、町政の経験も長く仲々のベテラン、それに農協は職員四十六名を擁し、専門指導員が四名居ると聞いて驚きました。本町は六六〇戸、耕地五〇〇ヘクタールの小さな町ですが、牛、牛の外、養鶏、酪農、梨、タバコ、チューリップ、などの経済作物が育成され、米七、五〇〇万円、梨四、六〇〇万円、鶏一、〇〇〇万円が農協の販売事業を通つてい

点

の振興課長さん。度の強い眼鏡の奥に仲々の鋭い眼指しを持った人である。場所は町はずれの木造二階建、ありきたりの粗末な役場庁舎の二階である。我々一行はこの人から富士見町の構造改善事業について話を聞いた。

窓外に雪をかぶつた八ヶ岳連峰がすぐ目の前に見える本町は標高六〇〇米から一、二〇〇米に及ぶ高冷地帯、総戸数三、五〇〇戸の内農家が二、四〇〇戸で田畑が耕作され、この寒冷地にも拘らず米の平均反収が四、四石、生産額が八億円と云うから驚きである。米の外牛乳と野菜がそれぞれ一億円、其他養蚕や花卉(洋菊)などを加え農業生産は十二億円、それだけに町政が経済政策に投ずる予算は全体の四〇%を占め、総ての融資金は町の利子補給により無利子とのこと。農民の意欲とい、為政者の考へとい、大部ケタが違うようである。(以下次号につづく)

それにも拘らず構造改善などと思われ、樹合の若い木が多いことでもそれなりの進歩が認められる。日に恵まれて、万物やがてわがき生命に燃ゆる日も、すぐそこまで来ている。楽しい如月である。

◆今回本村が優良村として全国町村会から表彰をうけた。また国民年金もその成績が優秀で表彰をうけた。よろこばしいことである。本村一体の村政が実を結んだので同慶に堪えない。

◆今や本村は外新都市建設の指定をうけ、内農業改善事業の基礎調査も着々すすむられ、新東郷村の建設は、夜明けを待たない。優待村という名に恥じない大業はさほどなくして余寒かな

給食寸景

